

札幌市円山動物園×気候変動教育プロジェクト

「対話・学びの拠点としての動物園・水族館の可能性」

ESD推進ネットワーク北海道地域フォーラム

学びの場としての動物園への期待

2026年3月22日

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

広報・サステナビリティ推進部

佐々木 隆介



北の大地とともに。

北海道コカ・コーラグループ

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 1963年（昭和38年）設立



創業63年 ※実はどさんこ企業なんです!!



設立	1963年1月24日
事業概要	北海道を主な販売地域とした コカ・コーラ社製品の製造及び販売
本社・札幌工場	札幌市清田区 清田一条一丁目2番1号
営業拠点	全道各地に27か所
グループ会社	■ 北海道コカ・コーラ リテール&ベンディング株式会社 ■ 北海道コカ・コーラプロダクツ株式会社 ■ 北海道ベンディング株式会社 ■ 北海道サービス株式会社 ■ 幸楽輸送株式会社
従業員数	1,168名（グループ会社含む）

※2026年1月現在

数字で見る北海道コカ・コーラ



北海道の拠点数
27カ所



北海道内の取扱店舗
約**30,000**軒



北海道の自動販売機設置台数
約**40,000**台



北海道の年間販売量
約**3,300万**ケース



北海道で展開する製品数
約**450**種

北海道で展開するブランド
約**40**ブランド

北海道で製造する年間本数
約**5億**本

北の大地とともに

私たち北海道コカ・コーラグループは、人々にさわやかさと潤いを届ける「どさんこ総合飲料メーカー」として、北海道の豊かな自然と地域ごとに魅力あふれる暮らしを未来につなげるため、「スマイルで暮らせる北海道」を道民の皆さまとともに目指します。



サステナビリティVISIONの重点課題(マテリアリティ)とその詳細

環境

環境保全

- GHG排出量の削減
- 水辺の環境を守る取り組み
- 海岸/河川の清掃活動

資源

- 循環リサイクルの推進
- 地域と連携した回収、リサイクル活動
- 廃棄物の100%再利用

水

- 水使用量の削減
- 水の再利用
- 水源での森づくり

社会

地域社会

- 防災協定による災害対応
- 社会課題解決に向けた取り組み
- 包括協定に基づくまちづくり

多様性

- LGBTQ+への取り組み
- 障がい者支援
- 女性活躍の推進

ウェルネス

- 自治体との協働取り組み
- 事業活動を通じた健康支援

経済

アセットの活用

- 物流事業の道内インフラ化
- 人手不足への支援
- 環境教育の推進

地元企業との連携

- 連携範囲の拡大
- 地方都市との取り組み強化

人的資本

- 個の力の最大化
- 働きがいのある職場づくり

2007年3月：円山動物園が再生するための道標となる「札幌市円山動物園基本構想」を策定

動物園の存在意義 = レクリエーションの場 → 来園者への「生物多様性の学びの場」へ



2008年4月
札幌市円山動物園と
「環境協働事業に関する協定」締結

札幌市と協働で環境問題に取り組んでいくことを合意いたしました。

環境パートナーシップの構築をはじめ、環境空間づくりとしてカフェの出店や自動販売機の活用やオリジナル商品などの様々な支援事業はここから始まりました。

学びの場としての動物園

視点1

市民（来園者）への学びの機会

市民（来園者）への学びの機会



2008年7月
次世代教育の場として札幌円山動物園内に
「nature café EARTH（ネイチャー・カフェ・アース）」をオープン
来園者に休憩を楽しんでもらうほか、環境の大切さを感じて頂く学び場として運営開始



市民（来園者）への学びの機会



水の授業



学生団体による講演



アースデイへの参加



環境クイズ



専門家による講演



民間企業との連携事業

「nature café EARTH」では様々な環境教育活動を開催しました

2010年9月 札幌市円山動物園「野生動物復元プロジェクト」を応援
「猛禽類野生復帰施設」の建築費用の一助として寄付いたしました。



【目的】

北海道に生息する猛禽類の飼育下繁殖技術の確立や傷ついた猛禽類の保護、放鳥にむけてのリハビリテーション施設、市民に生態系保存の重要性を伝えていくこと

ゾウさんのタッチシアター ⇒ Coca-Cola を寄贈



水を題材としたゾウの生態を学ぶ

2019年3月12日 新ゾウ舎オープン

ゾウ舎内観覧通路の壁に映し出された映像や音を通して、ゾウについて能動的に学ぶことができるコンテンツで、来園の動機が従来のレクリエーションから「**教育の場**」として、動物のことをもっと学び、知り、楽しんでいただける、新しい「体験」をスタートしました。

飼育員さんが不在の時でも、いつでも知る機会を提供いたします。



ゾウが糞をする事で環境型循環を学ぶ

市民（来園者）への学びの機会

2024年5月21日 オランウータンとボルネオの森のオープン

「い・ろ・は・すビジョン」寄贈



オランウータンの進化や、動物福祉に関するクイズ、動画

同施設は動物の本来の行動を発現して生き生きと暮らせる様々な工夫を凝らした施設で、来園者へ円山動物園の

「生物多様性」や「動物福祉」に対する取り組み

について理解を深めていただくきっかけに！！

学びの場としての動物園

視点2

企業（事業者） にとっての学びの場とする期待

事例1：気候変動問題への取り組み

【札幌円山動物園の取り組み】

事例1：展示からの発信（ホッキョクグマ館）

北極圏に住むホッキョクグマと、アザラシを展示。野生のホッキョクグマの主食は、アザラシ類。

北極圏の生態系の一部を見ていただくことで、生息地のことや、その環境について学ぶきっかけとして期待。



出典：札幌円山動物園HP



出典：札幌円山動物園HP

事例2：「札幌市円山動物園×気候変動教育プロジェクト」

動物たちの生息地が気候変動により脅かされる現状や、私たちの生活、経済との関連性を、動物園を訪れるたくさんの市民や観光客の皆さんにどのように伝え、その解決に向けた行動へ結びつけられるかを考える。

企業（事業者）が自分事にするためには、

国際社会～政策主導による経済界の取り込み

国連

パリ協定

政府

日本の目標

札幌市

企業

世界の平均気温上昇を産業革命以前に比べて1.5°Cに抑える努力



2030年に50%削減が必要

2030年までに2013年度比46%削減
2050年までにネットゼロ



出典：札幌円山動物園HP



SDGsのうたで17の目標をおぼえよう！
SDG 2024年3月29日(金)午後2:55 更新 2025年10月20日(月)午後0:42
NHK
それぞれの目標ごとの歌は、NHK for Schoolで聞ける！
NHK for School UAI



出典：NHKHP

政策 → 自治体目標 → 上場企業 → サプライチェーンへと浸透

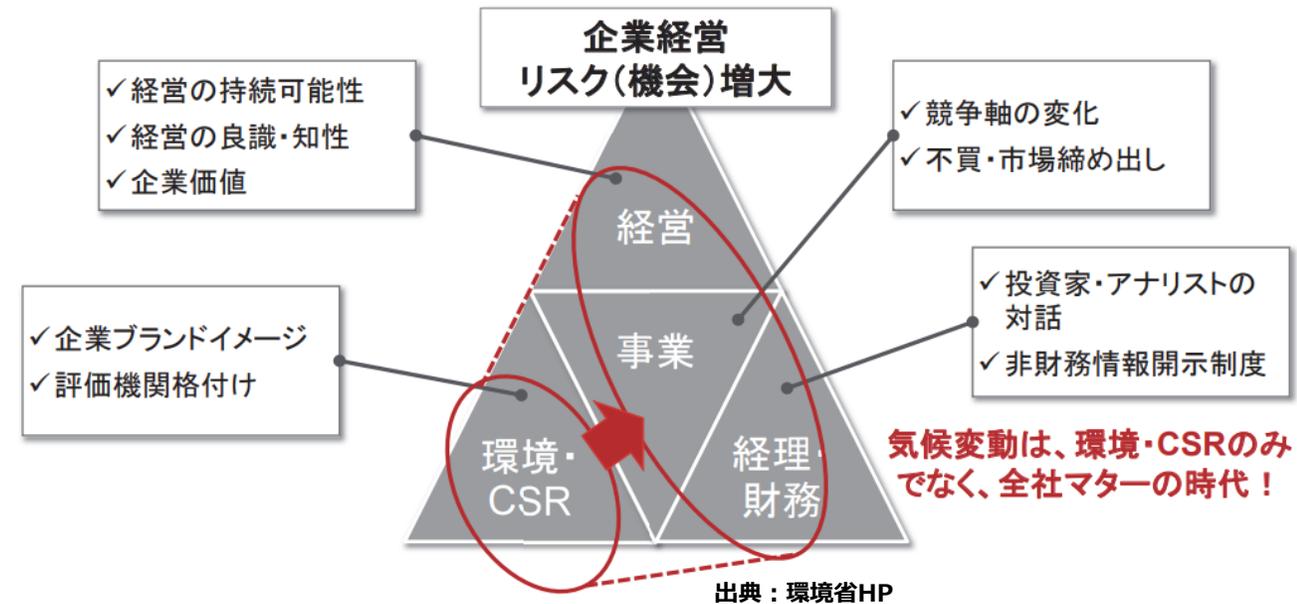
更に、、、幼少世代への教育機会を通じて次世代への課題認識の定着

事業者の状況（自分事になっているか！？）

気候変動は企業経営にとって「リスクと機会」と認知（自分事化）され浸透してきた



出典：環境省HP



以前は主管部門の業務として扱われていたが、、、

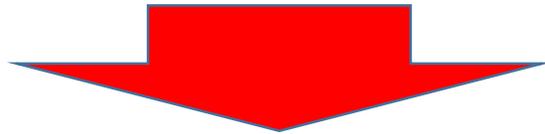
「企業価値」「事業売上」「資金調達」の面から**全社での取り組みが主流**となってきた！

取組みを評価される時代に入

TCFD導入による市場からの評価 → 事業計画へ

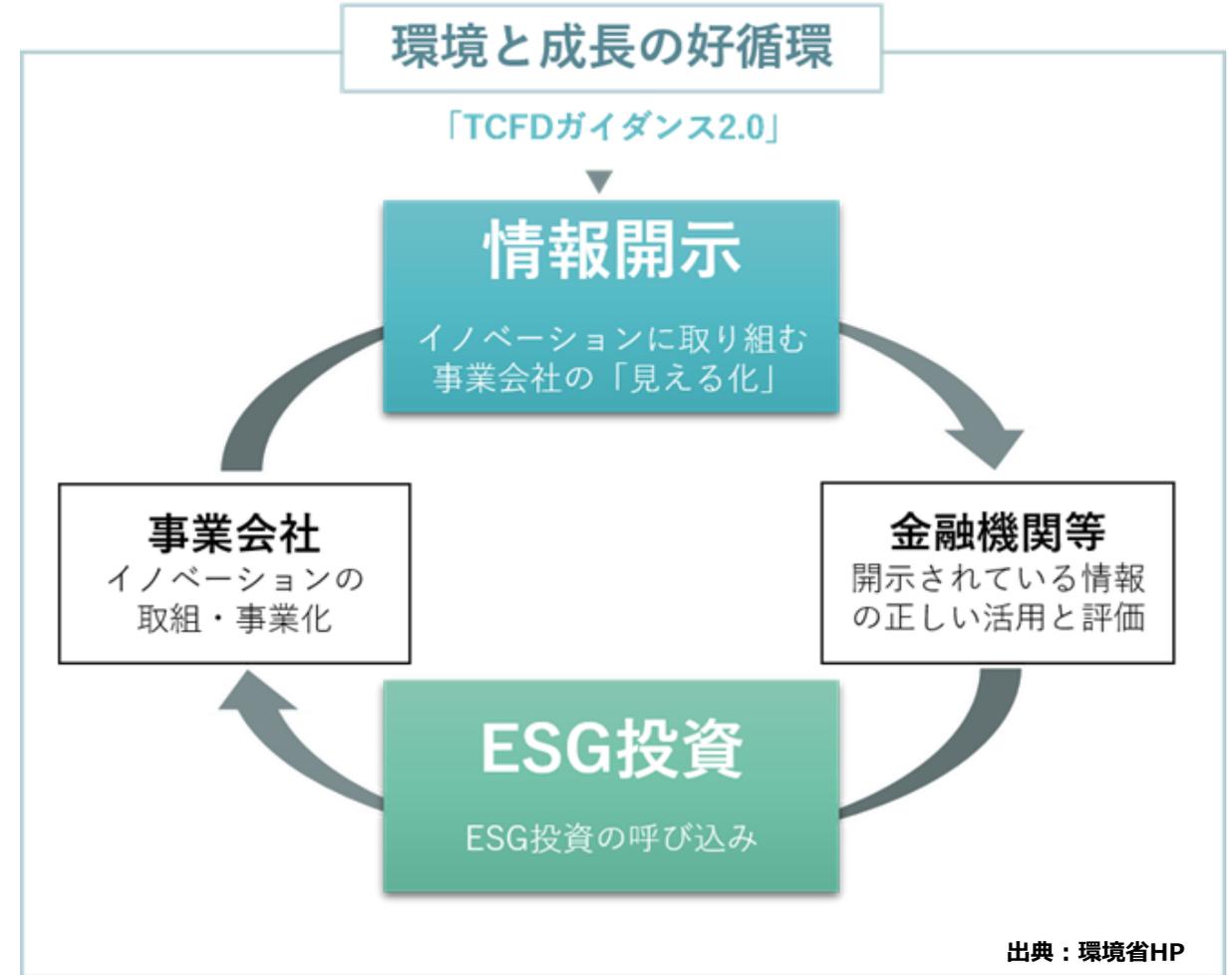
TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）

企業が気候変動によるリスクと機会を把握し、
財務的影響を投資家へ開示することを求める
国際的な枠組み



取組む企業 → 成長期待大
※融資や投資が集まりやすい

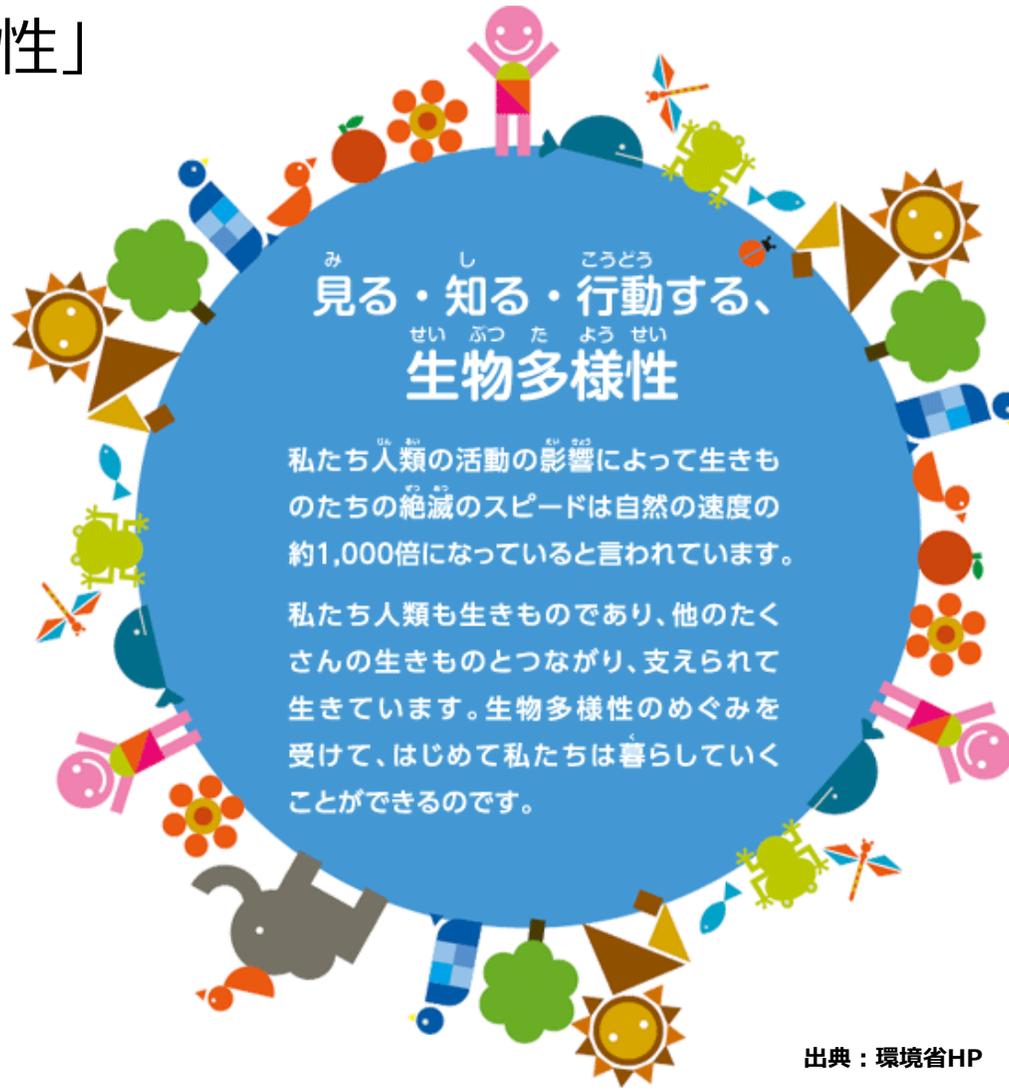
取組まない企業 → 成長期待低
※融資や投資が得難くなる



気候変動問題は市場を巻き込むことで、課題解決へ向けて軌道に乗ろうとしている!!

事例2：「生物多様性」について

「生物多様性」



み し こうどう
見る・知る・行動する、
せい ぶつ た よう せい
生物多様性

私たち人類の活動の影響によって生きものたちの絶滅のスピードは自然の速度の約1,000倍になっていると言われています。

私たち人類も生きものであり、他のたくさんの生きものとともに支えられて生きています。生物多様性のめぐみを受けて、はじめて私たちは暮らしていくことができるのです。

出典：環境省HP



私たちの生活が享受する生物多様性からの恩恵、事業活動による影響、、、
考えたこと ありますか、、、???



出典：環境省HP

【自然サイトとの共生】

「資源供給」「防災機能」「文化形成」「生態系の持続性」などの機能を果たし、「私たちの生活」の基盤を担っています。



言葉はしてるけど、、、

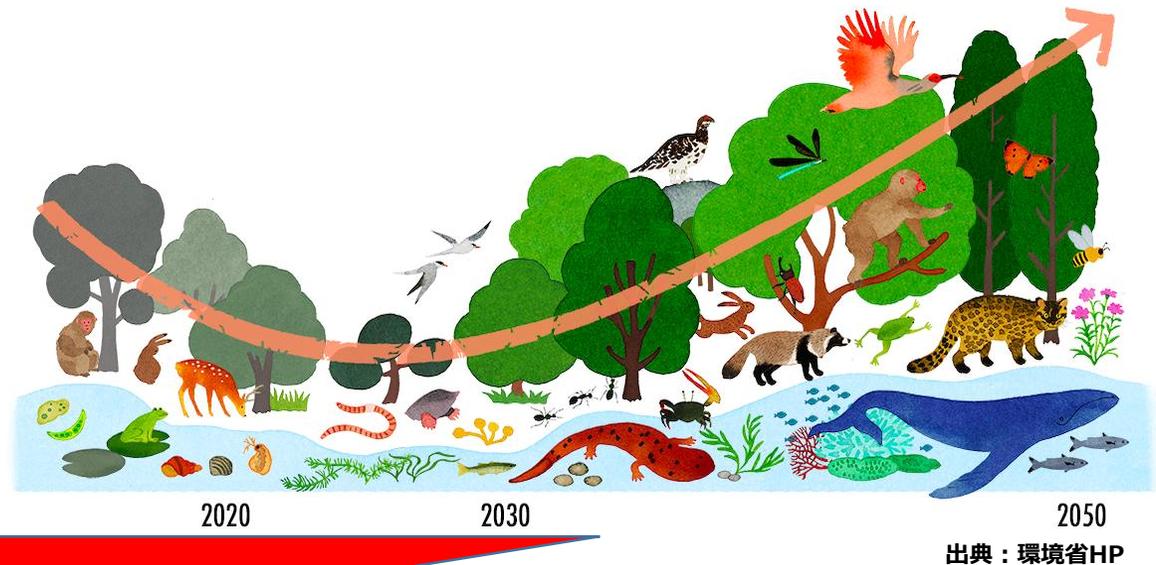
なかなかピン！と、来ない、、、

企業（事業者）が自分事にするためには、、、

国際社会～政策主導による経済界の取り込み

ネイチャーポジティブ

生物多様性の負（損失）の流れを止めて
正（回復）に反転させること



【自然共生サイトの拡大】



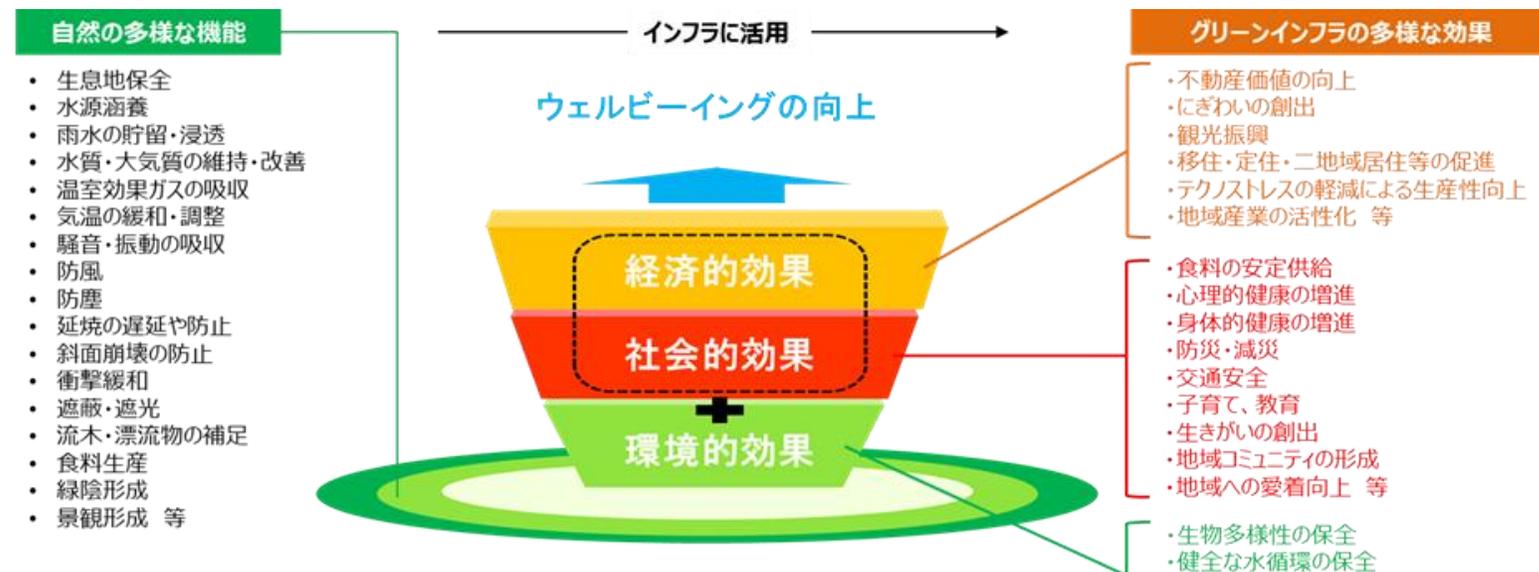
目標達成のためには、国の取組を推進することに加え、**民間の取組等**によって生物多様性の保全が図られている区域を広げていくことも重要。

グリーンインフラとしての環境との共生

【グリーンインフラの定義】

『グリーンインフラとは、自然の多様な機能を活用した社会資本であり、将来にわたり持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくり及びウェルビーイング向上に貢献するもの。

これは、人と自然の関わりから形成されるものであり、戦略的な計画、持続的な維持管理、幅広いステークホルダーの参画などを通じてより大きな効果の発現が期待できる。』



環境的効果（例）
人間を取り巻く生活環境を支える効果



良好な生活環境の形成



気候変動の緩和

社会的効果（例）
人間の安心安全かつ健康的な社会活動を支える効果



健康の増進



防災・減災

経済的効果（例）
人間の経済活動に資する効果



にぎわいの創出



不動産価値の向上



【参考図】グリーンインフラの実装による対応が期待される社会課題

1. 持続的で快適な都市・生活空間の形成

- ・高齢者、障害者、子ども、子育て世代など、全ての人々が安全・安心で不自由なく生活できる暮らしやすい都市・生活空間の実現
- ・健全な水循環の維持又は回復
- ・食料の安定供給・農林水産業の持続的発展と地球環境の両立
- ・地域特有の自然の持続的な維持管理



2. 防災・減災

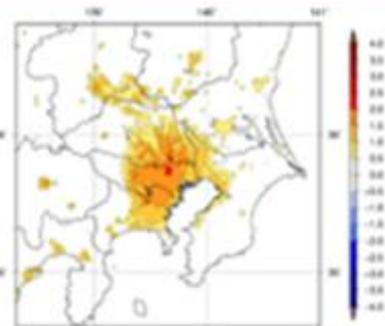
- ・災害に対する国全体の強靱性（レジリエンス）の向上
- ・複合災害を想定した有効な事前防災の推進
- ・ハード・ソフトが一体となった「気候変動適応策」の推進
- ・流域全体であらゆる関係者が協働して取り組む「流域総合水管理」の推進



岡山県倉敷市(平成30年)

3. 暑熱対策

- ・熱中症による被害やヒートアイランド現象の防止
- ・極端な高温の発生時における暑さを避ける場の利用促進等の熱中症対策
- ・ヒートアイランド対策や都市の暑熱対策



都市化の影響による平均気温の変化

4. 生物多様性の確保

- ・2030年ネイチャーポジティブ
- ・自然を活用した社会課題の解決の推進
- ・国内外の企業や投資家における生物多様性の保全に対する関心の高まり

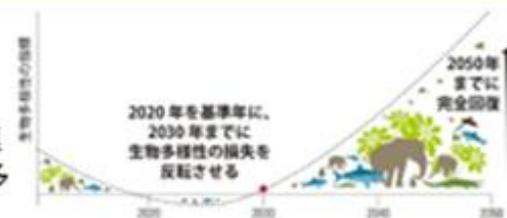


図7 2030年までのネイチャー・ポジティブに向けた自然の回復の測定可能な世界目標
出典：Lieber et al. 2021*

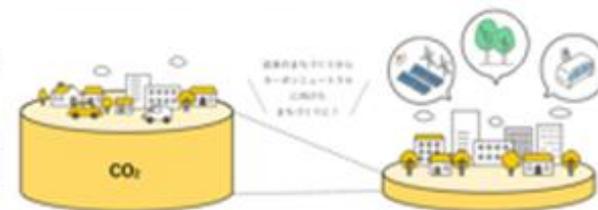
5. 地域経済の活性化

- ・国際的な潮流を踏まえた都市再生
- ・民間の消費・投資を喚起するまちづくりの推進
- ・土地の適正な利用・管理の確保
- ・人や企業の地方分散の推進



6. 温室効果ガスの削減

- ・2050年カーボンニュートラルの実現
- ・環境・経済・社会の統合的向上に資する地球温暖化対策の推進
- ・国土交通GXの推進



7. 循環型社会の形成

- ・環境への負荷ができる限り低減される循環型社会の形成
- ・資源を巡る経済安全保障上のリスクの増大
- ・経済社会システムの循環型への転換



【参考】札幌市内の自然共生サイト



札幌市内の自然共生サイト

サイト名	認定者	所在地	認定時期
マテリアルの森 手稲山林	三菱マテリアル(株)	手稲区手稲金山ほか	令和5年10月
北海道大学札幌キャンパス	国立大学法人北海道大学	北区北8条～北23条	令和6年3月
エコニクスの森林[もり]	(株)エコニクス	南区定山溪	令和6年10月
円山動物園の森	札幌市	中央区宮ヶ丘	令和7年12月
札幌大学の森	学校法人札幌大学	豊平区西岡	令和7年12月

「円山動物園の森」リンク



動物園の森について

森のコンセプト



どのような想いで動物園の森がつけられたかをご紹介します。

森の散策タイム



「森の散策タイム」の時だけご覧いただけます。ぜひ！

森のボランティア



ガイドや森の維持管理、イベントを行っているボランティアの紹介です。

森の写真館

刻々と変化する森の様子を記録しています。

草花館



200種類以上ある草花や、きのこや樹木のほんの一部をご紹介します。

生き物館



森の中にやってきた生き物たちをご紹介します。

森の変化を見よう



定期的に、同じ場所から写真撮影しています。

出典：札幌円山動物園HP

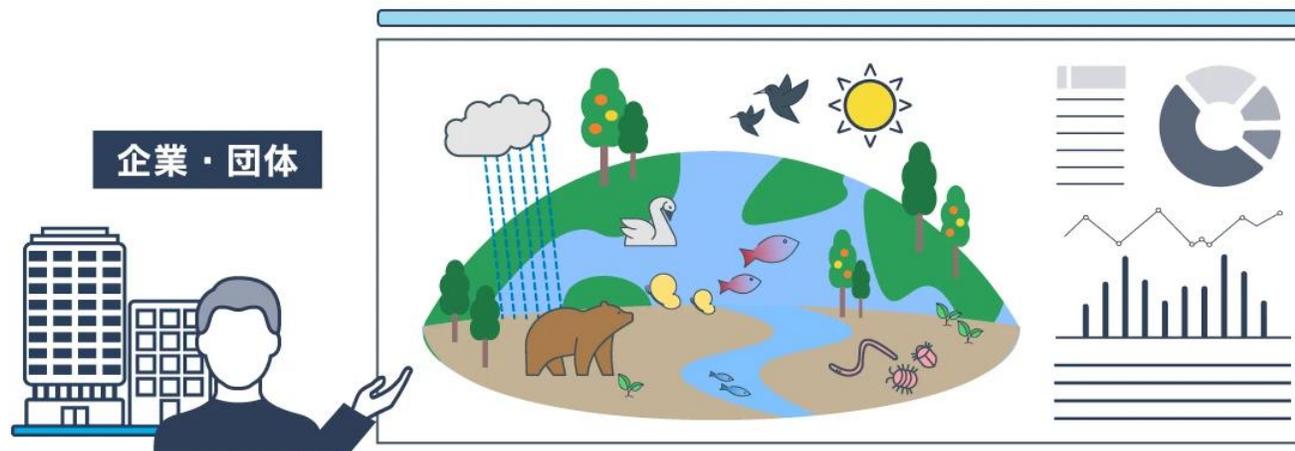
自分事にする機会（動機）の創出

評価システムの確立と市場への導入準備が進んでいます、、、

TNFDとは

自然関連財務情報開示タスクフォースのこと

企業・団体が自身の経済活動による生物多様性への影響を評価し
情報開示する枠組みの構築を目指している



TNFD はビジネス活動が生物多様性とどう関わっているかを見える化し
資金の流れが自然再興に貢献することを目的とした取り組み

出典：朝日新聞HP
SDGsACTION!

TNFDの導入は「生物多様性」の課題を全ての企業（事業者）にとって自分事にできるのか？？？

すべての企業が参入する機会の創出

SDGs（特に気候変動）問題については
経済圏の取り込みに成功

「生物多様性（ネイチャーポジティブ）」を経済圏に取り込むには？？？

課題

- ① 事業への影響を知る
- ② 知る機会との接触機会を増やす
- ③ なにから取組むべきか！？
- ④ 評価制度の浸透

札幌円山動物園への期待

- ① 事業への影響を知る手法を学ぶ
- ② 知る機会への接触機会の創出、工夫
- ③ 多様な取組み手段の提供
- ④ 評価制度の影響を中小事業者への波及

「札幌円山動物園」には

「動物の生態」を通じて市民（来園者）や事業者（大人）含むすべての人が、
「生物多様性」学び、行動へ繋げる気づきの場として機能されることを期待！！



北の大地とともに®

北海道コカ・コーラグループ

ご清聴ありがとうございました